

附属図書館 Newsletter

名古屋大学附属図書館

2021年10月

NEW



「高木家文書」修復事業が始動！

令和3年度から令和5年度までの3年計画で、高木家文書修復事業が進行中です。

今年度は木曾三川流域大絵図2点を含む治水関係史料10点が京都国立博物館内の修理所に預けられています。

修理所では、史料一点一点について専門の修復技師による詳細な状態調査が行われ、修復に必要な補修紙などの準備が進められています。

修復の流れはおおよそ次のような行程を経ます。

- ✓ 状態の調査と修復計画の策定
- ✓ 補修紙の作製
- ✓ クリーニング
- ✓ 剥落防止措置、補修紙を使った本紙の修繕
- ✓ 巻物の仕立て、軸装
- ✓ 保存箱の製作・ラベリング

どの工程も専門の技術を要しますが、補修紙(当時の美濃紙に近いもの)の作製と軸装は今回とくに注目するポイントです。

中央図書館内のOKB高木家文書資料館では、史料の一部をレプリカ展示でご覧いただけます。今後、修復事業の進捗に合わせ、展示の充実も図ってまいります。どうぞお楽しみに。

コロナ禍を振り返って

2020年から2021年にかけて、学内図書館室の休館や利用制限の期間が長く続きました。

スタッフも試行錯誤の日々が続き、学生への資料の郵送貸出や電子資料の充実、オンライン授業の施設整備や相談窓口など、様々な取り組みを行ってきました。

コロナ禍でも学内図書館室には多くの学生が来館し、課題に熱心に取り組む様子が見られます。館内では日々の感染対策を心がけています。

図書館室のご利用にあたっては、マスク着用、手指消毒、体調管理、ソーシャルディスタンスの遵守をお願いしています。

皆様に安全・安心にご利用いただけることはもちろん、充実した学修・研究活動を行っていただけるよう今後も取り組んでまいります。



東海国立大学機構

図書館グランドデザインを公開

2020年4月、東海国立大学機構が発足しました。名古屋大学附属図書館、岐阜大学図書館の両館で、機構図書館として目指す将来像や課題を盛り込んだグランドデザインを作成し、公開しています。

常に成長し続ける図書館のイメージを1本の木になぞらえ、「学修・教育支援」、「研究支援」、「社会貢献」において「世界屈指の教育・研究を支える糧となる」という目標を掲げています。

「東海国立大学機構 図書館グランドデザイン2021」

https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/koho/shiryo/thers_gd.pdf

東海国立大学機構 図書館グランドデザイン

New! 中央図書館 施設紹介

ライブラリ・メイカースペース開室

2021年7月に中央図書館2階にオープンしたライブラリ・メイカースペースでは、3Dプリンタやレーザー加工機といったICT機器を使ってモノづくりができます。

古代遺跡の出土品のレプリカから、自分専用のキーボードまで、様々な作品を作って楽しみながら学ぶことができ、学生の主体的な創作活動の場として人気急上昇中です。

(注)2021年10月現在、学外の方のご利用は開始していません。ご了承ください。



ホームカミングデー2021

今年もオンラインで開催しました

10月16日に、オンラインで第17回名古屋大学ホームカミングデーが開催されました。

図書館では過去から現在を振り返る企画を公開しました。

もしまだ見ていない、見逃したので見てみたい!という方がいらっしゃいましたら、この機会にぜひ、ご覧いただけますと幸いです。

【アンコール公開 附属図書館企画】

◆図書館は今、こんなふうです

— 附属図書館の昔と今 —

<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/event/hcd/2021/>



附属図書館

図書館は今、こんなふうです — 附属図書館の昔と今 —

附属図書館公式SNSでも情報発信中!

Twitter

@NagoyaUnivLib



Facebook

@Nagoya.Univ.info.lib



フォローしてね!

附属図書館公式キャラクター
メェだい

